

①個別データシート

種類 エネルギー

英名 korea electricity

整理番号: KR120001

分類 韓国

和名 系統電力,韓国

・GHG排出量 6.14E-01 kg-CO₂e/kWh

・情報源分類 統計分析データ

・技術記述子 韓国公共電力

・技術の内容と機能 主要産出物: 火力、原子力、水力、内燃力による発電及び送電

・情報源

主要エネルギー: 各種燃料(エネルギー)

韓国での火力、原子力、水力、内燃力、代替による発電及び送電に適用する。

エネルギーとして、石炭、有煙炭、無煙炭、軽油、B-C重油、重油、LNGが投入されている。

2010年の韓国の総発電量は495,744,551MWhで、水力6471902.534MWh(揚水2789933.751MWh):1.3%、火力211449271.336MWh:42.65%、複合火力94012137.809MWh:18.96%、内燃力94012137.809MWh:0.147%、原子力730695.245MWh:29.974%、集団8080232.932MWh:1.63%、代替4478057.639MWh:0.9%である[韓国電力統計2010]。韓国電力統計2010により、しかし集団と代替電力のエネルギーの消費量が分からないため、上記2種の発電量を除外し、1kWh当たりの投入原単位を計算した。

①STATISTICS OF ELECTRIC POWER IN KOREA 2010

・データ作成者コメント

STATISTICS OF ELECTRIC POWER IN KOREA 2010から、韓国の系統電力を引用した。

総発電量と総燃料投入量が記載されているので1kWhあたりに換算した。

LNG火力発電及び複合火力発電は一般的に熱供給も伴うが、電力及び熱それぞれへの配分比率が分からず配分することができなかったため、熱供給による発電は評価範囲に含まなかった。

(LNG火力発電と複合火力発電での熱供給による発電量は、韓国全体の発電量の約3~4%であるため、韓国の総発電量に由来するGHGへの影響が少ないと判断した。)

・適用範囲

韓国の水力、火力、原子力、代替電力などによる発電及び送電に適用する。 LNG火力と複合火力の熱供給による発電量は含んでいない。

・システム境界

原料採取から、韓国での発電、送電までを評価範囲とする。製品の韓国国内における輸送を含まない。韓国から日本への輸送及び日本国内での輸送は含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品はなく、配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、石炭火力発電、韓国(石炭火力発電[석탄화력발전])由来のCO₂(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
ユーティリティ	中間フロー	入力	原子力発電[원자력발전]	原子力発電,韓国	3.32E-01	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	水力発電[수력발전]	電力,水力	1.45E-02	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	内燃力発電[내연력발전]	内燃力(火力)発電,韓国	1.60E-03	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	複合火力発電[복합화력발전]	複合火力発電,韓国	1.82E-01	kWh	熱供給する複合火力発電は除外
ユーティリティ	中間フロー	入力	石炭火力発電[석탄화력발전]	石炭火力発電,韓国	4.43E-01	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	LNG火力発電[LNG화력발전]	LNG火力発電,韓国	2.40E-03	kWh	熱供給するLNG火力発電は除外
ユーティリティ	中間フロー	入力	重油火力発電[중유화력발전]	重油火力発電,韓国	2.43E-02	kWh	
製品	中間フロー	出力	系統電力,韓国	系統電力,韓国	KR120001	1.00E+00	kWh